

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

下水道整備と浸水対策の官民一体となった総合的な整備(第2期)

愛知県 江南市

令和3年 8月

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月02日

計画の名称	下水道整備と浸水対策の官民一体となった総合的な整備（第2期）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	江南市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	341	A	341	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27末見込み	H30末	R2末
1	下水道処理人口普及率を29%（H27末見込）から32%（R2）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	29%	%	32%
2	浄化槽転用基数を427基（H27末見込）から627基（R2）に増加。 浄化槽転用基数	427基	547基	627基
3	浄化槽を貯留施設に転用することで、雨水貯留量を936m3（H27末見込）から1,356m3（R2）に増加。 浄化槽転用による雨水貯留量	936m3	1188m3	1356m3
4	雨水貯留槽設置基数を351基（H27末見込）から1,076基（R2）に増加。 雨水貯留槽設置基数	351基	786基	1076基
5	雨水貯留槽、浸透柵、浸透トレンチ管、透水性舗装の整備における雨水貯留量を107m3（H27末見込）から353m3（R2）に増加。 雨水貯留量	107m3	255m3	353m3

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	江南市	直接	江南市	管渠（	新設	中部処理分区（未普及解	整備面積 34ha	江南市	■					230	—	
	A07-002	下水道	一般	江南市	間接	民間	—	—	浄化槽雨水貯留槽転用補	200基	江南市	■	■	■	■	■	66	—	
	A07-003	下水道	一般	江南市	間接	民間	—	—	雨水貯留施設等補助	雨水貯留槽725基ほか	江南市	■	■	■	■	■	45	—	
										小計						341			
										合計						341			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
江南市下水道課において、事業の効果の発現状況及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討した。	令和3年度  公表の方法 市公式ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道整備を行った結果、下水道処理人口普及率が上昇し、生活環境の向上に寄与した。</li> <li>・浄化槽雨水貯留槽転用補助事業を行った結果、浸水被害の低減に寄与した。</li> <li>・雨水貯留施設等補助事業を行った結果、浸水被害の低減に寄与した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・下水道整備については、計画を達成することができた。今後は引き続き効率的な整備を推進し、早期概成に向けて、アクションプランに沿った整備を進めていくよう努める。  
 ・浄化槽雨水貯留槽転用補助事業、雨水貯留施設等補助事業については、今後も浸水低減に向けて、広報や説明会でのPRを継続し、より多くの市民の方に利用してもらえるよう努める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	
	最終目標値	32%
	最終実績値	32%
2	浄化槽転用基数	
	最終目標値	627基
	最終実績値	612基
3	浄化槽転用による雨水貯留量	
	最終目標値	1356m3
	最終実績値	1480m3
4	雨水貯留槽設置基数	
	最終目標値	1076基
	最終実績値	603基
5	雨水貯留量	
	最終目標値	353m3
	最終実績値	205m3